

# 青森 青北進路通信

発行日：2020年5月22日(金)

発行元：青森北高校進路指導部

## 第2号

### 3学年 第1回進路志望調査結果（4月実施）

区分	今回(令和2年4月)		前回(令和元年11月)	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
国立大	32人	13.8%	38人	16.2%
公立大	47人	20.3%	55人	23.5%
私立大	73人	31.5%	64人	27.4%
国公立短大	0人	0.0%	1人	0.4%
私立短大	10人	4.3%	7人	3.0%
専修学校等	33人	14.2%	28人	12.0%
就職	37人	15.9%	40人	17.1%
未定	0人	0.0%	1人	0.4%
合計	232人		234人	

現3年生の国公立大学志望者は79名で、全体の約3割が志望しています。前回に比べて国立大・公立大ともに減少傾向にあります。青森県内の国公立大学の希望者数は、弘前大学が14名（前回18名）、青森県立保健大学が18名（前回18名）、青森公立大学が14名（前回20名）となっています。総合型選抜や学校推薦型選抜での受験を考えている生徒は、1学期中に学校だけではなく、学部や学科をしっかり決めておくようにしましょう。一方で、私立大や専修学校等が増加傾向にあります。安易に志望のハードルを下げて、自分自身の成長につながりません。志望校のハードルを下げるのは、全力で努力した結果、志望校に手が届かなかった時のみです。今はその時期ではありません。

就職の内訳は公務員が26名、就職が11名です。コロナウィルス感染症の影響で、就職では求人数が減少したり、公務員では志願倍率が高くなったりすることが予想されます。就職・公務員希望者は、一日一日を大切に過ごすようにしましょう。

### 3年生・放課後講習が始まりました

3年生の大学進学希望者対象に、放課後講習が行われています。国数英の3教科の他に、小論文対策の講習も行われており、3年生は熱心に取り組んでいます。



### 3年生・公務員学内講座第Ⅲ期で奮闘中

3年生の公務員希望者は、公務員学内講座を受講しています。警察官や消防士など、それぞれの生徒が目指す進路に向かって努力しています。



### 2年生・数学の朝講習第Ⅰ期開始

大学受験において国数英の3教科は、高校2年生までに基礎・基本を固めておくことが大変重要です。国数英は日々の地道な努力によって、少しずつ力が身に付く教科です。毎日少しでもいいから勉強するように心がけ、「ルーティン(routine)=日課」にしましょう。



## 【進路関係行事の変更について（5月現在）】

行事名	学年	当初の実施予定日	変更内容
保護者対象研修会	3	5月29日	You Tubeによる動画配信（5月18日～6月30日）
進路講演会	3	6月30日	現在のところ変更なし
職場訪問	2	7月30日	延期または中止
夏期講習	全	7月22日～8月21日	現在のところ変更なし
弘大オープンキャンパス	1	8月8日	延期は決定
進路講演会	2	9月1日	12月8日に変更
進路講演会	1	9月15日	現在のところ変更なし
学習合宿	1・2	1月6日～8日	現在のところ変更なし

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、今後の行事予定は変更になることがあります

## 進路コラム

### 3年生のためにできること

新型コロナウイルスの感染拡大で、4月の入学式や始業式が通常通り実施できず、5月に行われる予定だった遠足も中止となりました。7月に予定されている文化祭の実施も不透明な状況です。また、春季大会や全国高校総合体育大会（インターハイ）の中止が決まり、不完全燃焼のまま部活動を引退した3年生もいます。引退した3年生の気持ちを考えると、本当に心が痛くなります。

ウイルスは他生物の細胞を利用して自己を複製させる、極微小な感染性の構造体で、タンパク質の殻とその内部に入っている核酸からなります。ウイルスは自力で増殖できません。

つまり、新型コロナウイルス感染拡大の原因は「人」だということになります。悪いのはウイルスではありません。感染を拡大させた「人」です。具体的に言えば「無責任な大人」です。専門家の意見をしっかり聞く習慣があれば、感染拡大を防ぐことは可能でした。現3年生から最後の学校行事や高校総体の機会を奪ったのは「無責任な大人」です。

批判ばかりしていても何も生まれませんから、今私たちにできることを数え上げて、それを実行しましょう。

青森県高校総体の代替大会が開催される競技もありますし、文化祭だって実施できる可能性もあります。そして何より、3年生は受験を控えています。普段通りの授業や講習が行われることが、受験で合格するために一番必要なことです。ZOOMによる遠隔授業だけでは、小論文・面接や共通テストなどの受験対策に限界があります。青森県で再び新型コロナウイルスの感染が発生すれば、3年生にとって最後の学校行事ができなくなるだけでなく、進路にも大きく影響してしまいます。

だから、「3年生のために」自分ができることについてしっかり取り組みましょう。北高全員で。できることは主に3つあります。

#### 1 密閉・密集・密接の「3密」を避けること

「密閉」にならないように教室の喚起をしよう。生徒のみなさんも、気が付いたら窓やドアを開けて換気してください。

また「密集・密接」にならないように、ソーシャルディスタンスを心がけましょう。

#### 2 手洗いの徹底

学校再開後の学校生活では、手洗いをする生徒が減ったように感じます。人は知らず知らずのうちに、いろいろな物を手で触っています。しっかり手洗いをして、感染防止に努めましょう。

#### 3 マスクの着用

夏になると気温が高くなり、マスクを着用すると息苦しく感じると思います。しかし、今は我慢してマスクを着用し、「私にはウイルスを他人にうつす可能性がある」という意識を常に持って生活しましょう。

シンプルかつ継続した取り組みによって、拡大を防ぐことができる感染症です。この3つにしっかり取り組みましょう。

3年生のために。そして「責任ある大人」になるために。

### 勉強とは…

今年1月、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大した時点で、日本でも同様の事態が起こることは誰の目にも明らかでした。だから、医療資源を確保する時間は十分にあったのに、日本人にはそれができませんでした。

つまり、医療崩壊を引き起こしたのも「人」です。ウイルスではありません。非常時に備える習慣がないからです。

企業の成長期に蓄積された未利用の余剰資源のことを「スラック (slack)」といいます。準備したが使用しなかった資源、つまり「余裕・遊び」のことです。経済活動で利益を最大化するためには、「スラック」を最小化しようとしています。平時においてスラックは、ただの「無駄なもの」に見えますから。しかし、非常時を想定する場合には、経済活動と切り離して物事を考える必要があります。平時に「きつとこれは役に立たないだろう」「これはこんなに必要ないだろう」と考えても、非常時は平時モードの思考は通用しません。非常時には「スラック」があった方が生き延びる可能性は高くなります。マスク、防護服、フェイスシールド等の医療物資、検査態勢や病床の確保など、平時にできるだけ準備しておくこと。今回の医療崩壊は、それだけで防ぐことができました。

勉強にも、全く同じことが言えます。人生にもつらいこと、苦しいことや想定外の悲しみなど、多くの「非常時」があります。今は「役に立たない」「必要がない」と考えていても、非常時にはその「平時モードの思考」が通用しません。

非常時を「余裕をもって乗り切る」ために勉強するんです。だから、あなたのお父さん、お母さんや先生方がよく口にする「勉強しないと苦労するよ」とは、「スラックがあった方がよりよい人生になる」という、あなたのことを心から想った、あなた宛てのメッセージなんです。平時にいい準備をしておくことが、非常時における適切な対応を可能にする。みなさんが取り組んでいる部活動だってそうじゃないですか。平時に全ての対処を終えておく。野球に例えれば、相手バッターによって半歩だけ守備位置をずらす。それが危機を回避する骨法です。だから、みなさんは北高で多くのことを学んでください。非常時を強く生き抜くことができる、立派な大人になるために。